

## 10 月 15 日 : VN 指数は徐々に下落へ (VN-Index -0.41%)

- 昨日の下落から回復し、VN 指数は上昇して取引を開始した。
- その後 1 時間ほどは上昇基調だったものの、1,300pt に近づくと下落に転じた。
- 後場が始まると下落幅はますます広がり、指数は最終的に前日比でマイナスとなった。
- セクター別で上昇したのは小売、素材、銀行セクターのみ。最も下落したのは石油ガスセクターだった。
- 105 銘柄が上昇、280 銘柄が下落、51 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 9.1%低下し 16.6 兆ドンとなった。

## VN30 指数は PLX の下落が重しに (VN-30 -0.20%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、8 銘柄が上昇、18 銘柄が下落、4 銘柄が変わらずだった。
- 特に PLX (-3.60%) の下落が大きかった。
- MWG (+1.26%) や BID (+1.21%) の上昇に支えられた。

## セクター・個別株の動き

- OPEC は 2024 年における世界の石油需要見通しを 203 万バレル/日から 193 万バレル/日に、2025 年の見通しを 174 万バレル/日から 164 万バレル/日に引き下げた。これらが嫌気され、PLX (-3.60%) などを中心に、石油ガスセクター (-3.23%) は下落した。
- POW (-1.56%) は、2024 年 1~9 月における事業状況について発表した。総発電量は 114 億 2,000 万 kWh (前年同期比 2%増) と推計され、連結総収益は 22 兆 3,740 億ドン (同 1%増) とわずかな増加となった。
- 外国人投資家は 5,740 億ドンの売り越しとなった。KDC (-0.20%) や、昨日に引き続き FPT (-0.44%) が中心となった。一方、MSN (+0.62%) が特に買い越された。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。